

熊本県において分離された薬剤耐性菌の発生動向調査と耐性菌の分子疫学研究

1. 研究目的・方法

抗菌薬の開発は、感染症治療に恩恵をもたらしてきた一方で、不適切な抗菌薬の使用による薬剤耐性菌（以下、耐性菌）の出現が感染防止対策上の大きな課題となっています。さらに在院日数の短縮による患者の頻繁な医療施設や介護福祉施設の移動に伴い、感染防止対策は一医療機関だけではなく、地域ぐるみで取り組むべき急務の課題となっています。このような背景から、2012年4月の診療報酬改定では感染防止対策加算が新設され、医療施設内の感染管理体制の整備と医療施設間の連携強化が期待されています。

そこで、本研究では、熊本県内の医療機関で分離された耐性菌の発生動向調査と現在、世界的に広がりとつあるカルバペネム耐性腸内細菌と医療関連施設だけでなく市中にも広がっているメチシリン耐性菌ブドウ球菌の分子疫学解析を行うことにより、感染症の発生状況や耐性化機構を解明することを目的とします。

研究期間：2016年2月9日～平成31年3月31日

2. 研究に用いる試料・情報の種類

●熊本県内における薬剤耐性菌の発生動向調査は、本ネットワーク参加施設の臨床診断のために採取された検体から同定された薬剤耐性菌（緑膿菌、大腸菌、肺炎桿菌）情報

●ネットワーク参加施設において臨床検体から分離された菌株（カルバペネム耐性腸内細菌、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）

3. 外部への試料・情報の提供

カルバペネム耐性腸内細菌とメチシリン耐性黄色ブドウ球菌のサンプルは、解析のため熊本大学医学部付属病院へ提供される。検体は匿名化された状態で提供される。

4. 研究組織

熊本県感染管理ネットワークの微生物サーベイランスに参加している熊本県内の23施設

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先： 研究責任者：済生会熊本病院 TQM部 感染管理室 川村 宏大

住所：〒861-4193 熊本市南区近見 5-3-1 TEL:096-351-8000

研究代表者：熊本大学大学院生命科学研究部環境社会医学部門看護学講座 前田 ひとみ

以上